



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第305号

ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

日本カトリック司教団「信仰年」メッセージ

—信仰の恵みを見つめ直す旅に招かれて—

キリストにおける兄弟姉妹の皆さん

教皇ベネディクト十六世の自発教令『信仰の門』の呼びかけにこたえて、わたしたちは全世界のカトリック教会とともに、今日から「信仰年」の歩みを始めます。現代の日本の社会には、少子高齢化、経済の低迷、家族関係や人間関係の問題、いじめ、自死、原発問題などさまざまな困難があり、多くの方が悩みや苦しみを抱えて生きています。ここには、生きる意味と救いを求める声なき叫びが満ちているとも言えます。その中で、信仰という尊いたまものを受けたわたしたちは、「主のもとにとどまり、主とともに生きようとする決断」(『信仰の門』10)のうちに、自らの言葉と行いで信仰をあかするように招かれています。

わたしたち自身がどのように信仰の喜びを生活しているか、信仰から来る希望と愛をいただいているかを問い直しましょう。昨年2011年3月11日の東日本大震災と福島第1原発事故は、多くの犠牲者・被災者・避難者を生み出しました。それはまた、わたしたちの信仰と生活のあり方を大きく問い直す機会にもなりました。全国各地の多くの教会や信者の方々が、信者の少ない被災地で復興支援に関わっています。少しでも支援をしたいという思いをもって現地へ赴きますが、かえって被災された方々から「寄り添う大切さ」「一緒に生きる喜び」「未来への希望」を教えられる体験も数多くありました。このような体験を通じて、神がわたしたちの信仰に新たな光を与えてくださっていることを強く感じます。

わたしたちはこの「信仰年」を通して、もう一度信仰の恵みを見つめ直す旅に招かれています。まず、わたしたちは祈り、神のことば(聖書)、感謝の祭儀を通して自分の信仰を深めるよう励みましょう。この信仰の道はたった一人で歩む道ではありません。信徒も修道者も司祭も、そしてわたしたち司教団も、同じ信仰の道を歩む者です。互いに支え合い、励まし合いながら、謙虚さと勇気をもって新たに「信仰の門」に入っていきます。

「道であり真理であり命である」(ヨハ 14・6)主イエスは「信仰の創始者・完成者」(ヘブライ 12・2)であり、わたしたちの信仰の最高の導き手です。主イエスに従い、希望をもって信仰の旅路を共に歩んでまいりましょう。

聖母マリアの取り次ぎを願いながら、主イエスキリストがわたしたちの歩みを守り導いてくださいますよう祈ります。

2012年10月11日 日本カトリック司教団

社会問題に向き合う	2面
子どもたちのページ	3面
委員会等報告	4面
典礼委員会議事録	5面
聖書への案内・今月の聖人	6面
教会学校のページ	7面
おしらせ・短歌	8面

社会問題に向き合うカトリック教会の基本姿勢

Q1で述べたように、教会は福音によって人間とすべてのことがらを内部から新しくし、キリストが示した神の愛をあかしするためにこの件に遇われています。したがって、社会問題と取り組むときには福音に基づく基準が必要です。それらを以下簡単に説明します。

(1) 人間のいのちの尊厳

すべての人間は、神に愛され望まれ神にかたどられ似せて造られました。そこに入間の尊厳があります。いつどんな場合にもこの尊厳を尊重することが社会問題と向き合う教会の基本姿勢です。

(2) 共通善

共通善とは、人間集団(家庭、地域社会、国など)とその構成員が、よりやさしく、より完全に自分を完成させることができるための社会生活のさまざまな条件全体のことです。どの集団も自分たちのことだけでなく、ほかの集団の必要なものや正当な要求、さらには人類家族全体に共通した善を考慮しなければなりません。

(3) この世の物は万人のため

神は大地万物と人間を造り、人間に大地を与え、人間がその働きによって大地の実りを得ることができるようにしました(イザヤ45・18、詩編目115・16参照)それは、だれ一人として排除されることなく生命を維持するためでした。ここに、この世の物がすべての人のためにあるという原理があります。このように神は地とそこに含まれるあらゆる物をすべての人に与えたのですから、愛と正義をもってすべての人に公平に行き渡るようにしなければなりません。

(4) 補完性の原理

人間の尊厳を尊重するという事は、家庭やささまざまな人間共同体および経済、社会、政治、文化、スポーツ、娯楽、専門職などにおける活動の全体にも目を向けることでもなければなりません。したがって、個人やより小さな集団の創意、自由、責任が尊重され、より強い大きな集団はより弱い小さな集団を助け、支え、発展を促すようにしなければなりません。そこに補完性の原理があります。

(5) 参画

参画は、補完性を特徴づけるもので、個人的であれ共同であれ、直接間接市民社会の文化、経済、政治、社会にかかわる人々の生活に貢献する活動のことです。これは共通善の視点からいえば、すべての人が責任をもって意識的に果たすべき義務です。

(6) 連帯

連帯は人間の尊厳と平等、人間そのものがほかの人とともに生きるように造られているという事実に基づいている原理です。それは法制度や市場に関する規定を定めるための社会原理となるべきものです。それはまた倫理徳として、単なる同情ではなく、すべての人に対する責任を自覚して一人ひとりの善と同時に社会の共通善のために働くという確固たる決断のことです。



きょうこうさま がつ にち
 教皇様は9月16日からレバノンを
 ほうもん
 訪問されました。レバノンやシリアやトル
 コなどの国はすべての人がイスラム教徒
 と日本人 おも
 と日本人は思っていますが、どの国にもキ
 リスト 教の 教会 があります。世界のど
 この国にでもキリスト 教会 はあるので
 す。同じように福岡にもイスラム 教の
 教会 はあります。

おかやまけん ぐらしききょうかい
 岡山県の倉敷教会にはアフリカの
 こく こ しゅうどうかい しんぶさま
 コンゴ国から来られた 修道会 の神父様が
 います。5月に倉敷 教会に泊まったとき、
 よる おもしろ はなし き
 夜にアフリカの面白い 話を聞きました。

トルコの 教会にはドイツから帰った
 ひと たちが来ています。この人たちはドイツ
 で長い 間 働いていた ときにカトリックに
 なりました。そんな 人はたくさんいますと
 いう 話を聞きました。

せんそう
 戦争があったイラクにもたくさんのキ
 リスト 教徒がいますし、イランにもキリス
 ト 教徒はいるのです。

さくねん となり こ が きょうかい しんぶさま
 昨年、隣の古賀教会のユード神父様
 が帰国される時、神父様の故郷のスリ

ランカに行きました。スリランカという国
 は 仏教 の国として知られています。とこ
 ろが、 空港の近くのユード神父様の故郷
 の町に行くと、その町全部がカトリックで
 した。町の角にはマリア様の像や聖人の
 像が立っていました。スリランカは小さな
 国ですが、カトリックの信者は日本の
 10倍いるのです。日曜日のミサでは前の
 ほう こ せき にんいじょう こ
 方は子どもの席で、200人以上の子ども
 が 来ました。ミサ後の 教会 学校は、
 教会 の外の木の下などいろいろなとこ
 ろで、20組くらいの 勉強 クラスがあり、
 びっくりしました。神父やシスターになり
 たいという子どもたちがたくさんいるそ
 うです。

おな ぶつきょう くに どうなん
 同じように 仏教 の国である、東南ア
 ジアのミャンマーにもたくさんのキリス
 ト 教徒がいます。北の方のカチン族の人
 たちがいる地域は全部キリスト 教です。

わたし わたし くに い かなら
 私たちは、どの国に行っても必ず
 キリスト 教会 とキリスト 教徒に出会う
 のです。

委員会等報告

2012年10月分

10月度小教区委員会

10月7日

1. 前委員会の議事録確認

11時30分 祝賀会

- ①幼稚園・教会の正門について
砂場のある辺りに作る予定
業者を選定し、見積を出してもらう
来年夏休みから工事に入る予定
- ②8月12日(日)平和の集い 20名参加
霊的花束・大槌ベース寄付金
7/22・29・8/5に実施

- 園庭と信徒会館(雨天時 幼稚園)
- ④祝賀会パーティーについて
・オードブル・サンドイッチを注文する
・信徒の協力を募って、ちらしずしを作る
・飲み物準備
- ⑤馬小屋・イルミネーションの準備
12月2日(日)に行う
電球等飾りが故障している物については、
交換を検討

2. 先月の行事報告(抜粋で記述)

- ・8月12日(日)~14日(火)
中高生天草巡礼 19名参加
- ・8月26日(日) 聖堂ワックスかけ
猛暑のため、10月21日に延期
- ・9月9日(日) 敬老のお祝い会
敬老会当事者の参加者29名
委員会16名(手伝いの方を含む)
手違いでお祝いの記念品を翌週に渡す
- ・9月15日(土) 幼稚園50周年記念
教会よりお祝い 10万円
信徒の寄付より 10万円
- ・9月17日(月)信徒協親睦クリエーション
台風のため中止(4年連続)
貸切バスのキャンセル料を支払った。
来年度からバスは借りず、自家
用車に乗り合わせていく。

⑥街頭募金

小教区として行う。但し、以前のように
地区ごとに割り振るような事はせず、参加
できる人ができる時間帯に行う。
聖堂の後ろに参加者を募る紙を貼るの
で、参加できる人は、できる時間帯に名前
を記入する。

4. 各委員会

- 納骨堂委員会より
お盆時期に10名の手伝いがありました。
お参りに来られた方は36名。
- ふれあい会より
朝の準備をしてくれる人を募集。
・お湯を沸かして、ポットに入れる
・ベンチ・テーブルの準備・拭く仕事

3. 議題

- ①11月1日(木) 諸聖人の日
ミサ9時30分
11月2日(金) 死者の日 ミサ7時
- ②11月3日(土) 召命の集い
集合7時30分 出発8時
- ③11月4日(日)堅信式、司教様公式訪問
9時集合 司教様を迎える
9時30分 ミサ(堅信式)

5. その他

- ・信徒会館のスリッパ・玄関マットが古くな
っているの、かえてほしい
→来年度の予算で検討する。

6. これからの活動

- 11月4日(日) 司教様公式訪問・堅信式
12月2日(日)クリスマス飾り付け
小教区委員会

2012年度 第5回 典礼委員会議事録

開催日時：2012年10月10日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、山本、安永、三谷、矢田

《報告事項》

1. 田中健三郎さん：閉祭の歌をオルガン演奏、
アプドゥハンさん：9月第5週(30日)より、一部オルガン演奏を開始。
 2. 教区研修会9月23日(日)：「今直ちに原発の廃止を」という司教団メッセージが出された背景と内容を具体的に解説。
グループに分かれてわかちあい。(出席160名)
 3. 信仰年の始まり：2012年10月11日～2013年11月24日(王であるキリスト)
10月14日(日)のミサで信仰年開始の集会祈願、共同祈願など。
 4. 11月11日(日)小教区追悼の日(色紙の用意)
 5. 今後の予定
 - ・11月23日(祝日)教区の日
- 2013年
- ・1月27日(日)北九州信徒協典礼部会 14時 小倉教会
 - ・2月10日(日)典礼研修会(全信徒対象)午後 小倉教会
講師：白浜満神父(日本カトリック神学院)
 - ・3月第1土・日 年の黙想 中村克徳神父(黙想の家)

《審議事項》

1. 司会当番表の提案
 - 11月1日(木)吉岡英美氏 ミサ 9:30
 - 12月24日(月)田中 拓氏 ミサ 19:30
 - 25日(火)山本 栄氏 ミサ 10:00

2013年

 - 1月1日(火)樽角 務氏 ミサ 10:00

2. 黙想の家研修会(2回目)を年度内に行うことができるか交渉中。
中村神父様の怪我。
3. 堅信式：11月4日 年間第31主日(B年) 司会：浜口 学氏
4. クリスマスイルミネーション：12月2日(日)より
5. クリスマス(24日夜半ミサ)フルート演奏了承：工藤 萌氏
「アベマリア」「きかせてください」「あめのみつかいの」

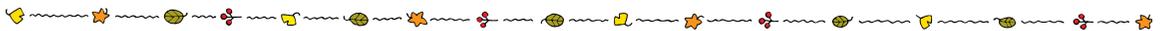
次回予定 2012年 11月14日(第2水曜日) 信徒会館

聖書への案内 No.31 テモテへの手紙 1・2

テモテへの手紙1・2とテトスへの手紙は「司牧書簡」と呼ばれています。パウロの第二回伝道旅行のときから弟子で同行者でした。(使徒 16 章1～) この旅の途中でパウロは幻を見ました。その中でマケドニア人が立って「マケドニア州に渡って来て、私たちを助けてください」と言いました。(使徒 16 章6～) そのためパウロはマケドニアに行くため、テモテをエフェソに残して、エフェソの信徒を指導するように命じました。そして、マケドニアからテモテに手紙を書きました。パウロはエフェソで偽りを教える人に注意するように警告します。

パウロは、正しい信仰の姿を様々なことで説明をしています。律法について、神への感謝、祈りについて、指導者の正しい姿勢など具体的に述べています。そして自分が過去に回心した出来事を引き合いに出して『**「キリスト・イエスは、罪びとを救うために世に来られた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。わたしは、その罪人の中で最たる者です。」**(1章15節) と述べるのです。

パウロは、テモテがエフェソの人たちを指導するために具体的な説明をして助けます。これは、そのまま現代の社会に生きている私たちに、パウロが信仰を続けるための指針を示してくれているのです。



今月の聖人 25日 聖カタリナ(アレキサンドリア) おとめ殉教者?-309年

カタリナは、エジプトのアレキサンドリアの貴族の家に生まれ、早くから学問を修め、才能に恵まれていた。あるとき彼女は、ひとりの隠修士からキリストの教えを聞き、洗礼を受けた。18歳のとき、ローマ皇帝マキシミヌスは、市民たちに偶像崇拜を命じ、従わない者は処罰することを公布した。カタリナは、公に信仰を表わしたので、皇帝は50人の学者を集め、彼女を屈服させようとした。しかし、学者たちは彼女に感化されて、キリスト教こそ真の宗教であると公言し、改宗した。憤慨した皇帝は、学者全員を処刑したが、カタリナに対しては、その学識の豊かさとしなやかさに心をひかれていたので、彼女が信仰を捨てれば、皇后にするとまで言った。しかし、彼女が拒否したので、皇帝は怒り、彼女を車輪に縛りつけて身を引き裂くという刑を執行するよう命じた。それでも彼女が命を落とさなかったため、最後は、斬首された。



彼女の遺体は、天使によってシナイ山に運ばれたと伝えられている。

カタリナを敬う習慣は、8世紀ごろに東方教会から西方教会に伝わり、10世紀にはイタリアを中心に広まった。釘を打った車輪と、イエス・キリストとの婚約指輪、剣などを持った姿で描かれている。若い女性、学者、弁護士などの守護の聖人とされている。



教会学校のページ



10月14日

《1年生～6年生まで一緒に勉強しました》

1 今日の福音(マルコ10章17～30節)

自分の聖書で、今日の福音の箇所を探して、
みんなで読みました。

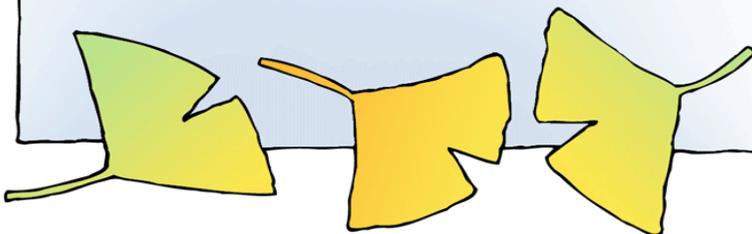
- ある人が「永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいでしょうか」とイエス様に尋ねました。どうすればよいか、イエス様がおっしゃてることを考えました。
- 私たちは何不自由なく、毎日過ごせることを、神さまにありがとうございますと感謝のお祈りをするでしょう。
そして、本当に困っている人のことを思い出すことができるでしょう。
東日本大震災にあった人たちのこと、自分には何ができるか、などよく考えて実行しようと話し合いました。

2 ロザリオの月

ロザリオの月にあたり、一日に一連でも唱えましょうと、促しました。
何曜日には、何の祈りをしたらよいか、教皇様の提唱を知らせました。

3 アベマリアの祈り

最後に、アベマリアの祈りをして、終わりました。





★司教様公式訪問・堅信式★

日 時：11月4日(日)午前9時半より
9時より司教様をお迎えします。
ミサ後、祝賀会を行います。

★諸聖人の日・小教区追悼祭★

◇諸聖人の日のミサ

日 時：11月1日(木) 午前9時半より

◇小教区追悼祭

日 時：11月11日(日) 午前9時半より
死者の方の名前が書いてある色紙
や紙を持ってきてください。

★ふれあい会より★

朝の準備を手伝ってくれる人を募集して
います。聖堂後ろの掲示板に、紙を貼って
いますので、協力できる人は、名前を書い
てください。よろしくお願ひします。

★11月3日 召命の集い★

今年も、日本カトリック神学院で、召
命の集いが行われます。参加される人は
聖堂の後ろの紙に名前を書いてくださ
い。教会集合は7時30分、出発は8時
です。

★街頭募金について★

日 時：12月16日(日)11時～13時
場 所：未定(これから交渉します)
今年度は、小教区として行うことになり
ました。詳しくは、来月号に記載します。



【帰天】安らかに！

10月12日
◇栗原 晃さん(遠賀地区)

折尾地区

西山寿美枝さんの短歌

霧深き朝の山より立つ息吹き

白くたなびく峰をつつみぬ

公園に憩うひととき舞う枯葉

手さげの中にふたつみつあり

お尻のみピクピクさせて落ちて来し

蜻蛉を拾う濡れし歩道に

傷つきし蜻蛉を拾いしとき思う

私しごときになぜ拾われる

草むらの露を探してそっと置く

蜻蛉の命いとしみながら

わたくしの手の届かない蒼き空へ

友逝きし日を秋蜻蛉舞う

あきあかね